1．評価報告概要表

評価確定日　平成20年3月31日

【評価実施概要】

事業所番号	2276600422
法人名	医療法人　社団聖パウロ会
事業所名	グループホーム今日香
所在地 （電話番号）	磐田市上野部1519-5 （電　話）0539-62-5540

評価機関名	静岡県社会福祉協議会
所在地	静岡市葵区駿府町1-70
訪問調査日	平成19年6月11日

【情報提供票より】（19年4月1日事業所記入）

（1）組織概要

開設年月日	平成　16　年　1　月　5　日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18　人
職員数	14　人	常勤　13　人，非常勤　1　人，常勤換算　9　人	

（2）建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄骨造り	
	1階建て	

（3）利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	45,000　円		その他の経費（月額）	12,000　円
敷　金	無			
保証金の有無 （入居一時金含む）	有（100,000　円）		有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	400　円	昼食	500　円
	夕食	500　円	おやつ	0　円
	または1日当たり　円			

（4）利用者の概要（4月　1日現在）

利用者人数		17 名	男性　1 名		女性　16 名
要介護1		6　名	要介護2		2　名
要介護3		3　名	要介護4		0　名
要介護5		6　名	要支援2		0　名
年齢	平均	84 歳	最低　78 歳		最高　97 歳

（5）協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団聖パウロ会西遠クリニック　遠州総合病院

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広々とした敷地には完成間近かな庭園があり色とりどりの花が咲き、正にこれから、お年寄りが集まる地域の拠点となるにふさわしい環境である。平屋建て2ユニットであるが、外観も、内装も一般家庭を思わせるような造りで落ち着きが感じられる。運営推進会議は地域の自治会をはじめ民生委員等、地域の代表者で構成され、前回はグランドゴルフやサロンへのお誘いを受ける等、徐々にではあるが、連携がとれはじめ、地域に根ざそうと努力されている。身体的に重度の方が多く法人内の看護師が毎日訪問する等、利用者・家族の安心と共にターミナルケアの実績はグループホームの地域密着型サービスに繋がっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	**前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4）** 前回に受審した評価結果の改善点等については十分に理解しているが、十分に改善が行えていない部分もある。しかし、その改善を行っていこうとする姿勢は有しており、今後に期待したい。
	今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4） 管理者の立場での自己評価は初めての経験であり、前向きにこれまでを振り返って自己評価を行っている。全ての職員が取り組むにまで至らなかったが、今回の自己評価と外部評価の結果を踏まえ、前向きに検討して、改善すべき点及び更なる取り組みに繋げていくという気持ちを強くもっている。
重点項目②	**運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）** 地域住民等を交える運営推進会議では、ホームの運営状況の報告が主となっているが、委員からも積極的な意見も出され、利用者の生活が充実する事柄等の提案も出されている。既に実現していることもあり、今後も会議を活用した取り組みを行っていくことにしている。
重点項目③	**家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）** ホーム便りを発行し、個々の利用者の近況と併せて情報提供している。利用者の心身に何らかの変化や問題が生じた場合は、その都度家族に電話連絡している。家族が訪問した際には、利用者の状況を伝え、相談や意見、苦情等も言い易い雰囲気づくりを行っている。これからもその雰囲気づくりを進める考えである。
重点項目④	**日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）** 自治会に加入し、地域の行事である美化運動やお祭、中学生の職業体験の受け入れ、幼稚園との交流への働きかけ等、顔見知りの関係を築く努力の結果、徐々に地域活動や人々との関わりが深まってきている。今後も、運営推進会議等を活かして、地域に根付くホームづくりを期待したい。

2. 評 価 報 告 書

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項　目	取り組みの事実（実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容（すでに取組んでいることも含む）
Ⅰ．理念に基づく運営					
1．理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム開設以来、「お互い様の心」を理念にしてきた。その理念を大切にしつつも新たな理念づくりを行っている。	○	利用者の思いや地域のニーズ、これまでのホームの状況の変化等により地域密着型サービスにふさわしい理念に作り変えられることを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	従来の理念を職員会議等で取り上げ、「お互いさまの心」の言葉を掘りさげ話し合い、統一を図り、支援の基本としている。	○	全ての職員がこの理念で納得できるかを考えており、話し合いの中でホーム理念をどうするか検討することとしている。何よりもこの話し合いが有意義であり、一人ひとりの職員が主体的に関わっていくことに期待したい。
2．地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地域行事である美化運動やお祭、中学校の職場体験等も受入れている。また運営推進会議をきっかけに交流も更に深まり、老人会が行うグランドゴルフ等に参加している。	○	地域に根付いた取り組みを強く考えているので、運営推進会議を活用した更なる活動に期待したい。
3．理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	勤務上の関係もあり、やや管理者一人が苦労した様子もあるが、意義は理解し振り返りのきっかけとなることも十分に理解している。自己評価、外部評価結果からの改善ができていない部分もある。	○	その状況をホームも十分に理解しているので、職員と一丸となって取り組むことに期待したい。負担感が残る評価とならないように願いたい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、事業所の説明から活発な話し合いが行われ、会議出席者からグランドゴルフへ参加呼びかけやサロンへの誘い等が委員からも出され、即実現する等、利用者の生活の拡がりに繋がっている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（〇印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議には委員として積極的に参加を得ている。事務的な事柄に終始することも多く、更なる働きかけを期待したい。		
４．理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	隔月にホーム便りの「スマイルメール」を発行し、事業所の情報を伝えるとともに、職員が個別に利用者の近況を知らせる手紙を添えている。利用者の心身に何らかの変化や問題が生じた時には、その都度家族に電話連絡し、小遣いの使用状況も定期的に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会が結成され、意見を聞く機会を設けている他、家族が気軽に意見を言えるような雰囲気づくりに努めている。相談や意見を言い易いような関係づくりを目指している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動や離職による弊害を良く理解している。これまでは管理者や職員の移動や離職等があり、利用者に不安を与えていたことを十分に認識している。	○	職員の安定した雇用に向けて今後も努力して欲しい。
５．人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	利用者本位のサービス提供を行うために、研修の必要性を認識している。月に一度の内部研修をはじめ外部研修にも積極的に受講を促し、介護福祉士等の資格取得支援も行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	サービス事業者連絡会、ケアマネ連絡会等へ出席しているが、交流を通じた質の向上に向けた具体的な取り組みにまでは至っていない。	○	連絡会等のネットワークを活用して事例検討や介護技術向上に向けた取り組みに期待したい。

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前には、職員が自宅に訪問し、希望や意向を把握する他、ホーム内の雰囲気を体験しながらも馴染みの関係を深めて、徐々にサービスを行うように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理念である「お互いさま」の心を大切に、共に生活し、支え合っているという意識を職員一人ひとりが常に持ちながらさりげない支援を実践している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴や趣味、嗜好などを利用者及び家族から把握している。利用者同士や職員との会話の中からも把握できる場面があり、職員会議等で話し合い職員間で共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	利用者がどうしたいのか、利用者の視点に立ってカンファレンス等の場で話し合い、家族の意向や意見も取り入れながら具体的な介護計画を作成している。	○	訪問時に家族に説明し、了解印を得ているが、訪問が困難(あまり訪問されない)な家族への対応についても検討して欲しい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	原則として6ヶ月ごとに見直しを行っているが、必要に応じた随時の見直しもしている。長期、短期目標や課題を明確にし、具体的な計画とし、評価を行ったうえで次の計画策定を行っている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（〇印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
３．多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	〇事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームの機能と役割を十分に認識して、利用者の意向や家族の思いも踏まえた柔軟な支援を行っている。		
４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	〇かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1度の往診に加え、毎日2回の看護師の派遣があり、バイタルチェックや処置、点滴等の医療的な支援も行われている。		
19	47	〇重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた方針が定められ、利用開始時に「ターミナルまでの受け入れ」が説明され、利用者、家族が内容を理解している。		
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 １．その人らしい暮らしの支援 （1）一人ひとりの尊重					
20	50	〇プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りや尊厳、プライバシーには十分配慮がされている。名前の呼び方等にいたるまで、十分な配慮と留意がされている。		
21	52	〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	概ねの1日のスケジュールは設けているが、時間を区切る等の流れにはしていない。何よりも利用者の思いやペースを尊重して、充実した生活が送れるように配慮している。		

外部	自己	項　　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（〇印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
（2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員は同じものを食べているが、利用者が食事中の際も盛り付けを行っていたり、洗い物をしていたりとやや落ち着かない状況が見受けられた。食卓を寄り合わせ、一つのテーブルを作っているので利用者と職員が顔を見合わせて食事できるような工夫はされている。		
23	57	〇入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できるように配慮がされ、入浴したい日に、入りたい時間に入浴ができるようにしている。入浴の嫌いな利用者にも言葉かけ等を行う等している。		
（3）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	〇役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活暦や得意な事柄を把握し、洗濯物たたみ、草取りや花の観賞、買い物等を一緒に行うようにしている。しかし、重度の利用者も多いため、全ての利用者への役割や楽しみごと支援にまで至っていない現状と課題を抱えている。	〇	難しい問題であるが、重度の利用者支援について継続して検討して欲しい。
25	61	〇日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	「1日に1回は外に出る」ことを心掛けて利用者の外出支援を行っている。買い物やドライブ等、利用者の希望にも応えている。造成中である敷地内の庭園には、多くの植物が植えられ、気軽にホーム外に出られるような環境づくりにも配慮している。		
（4）安心と安全を支える支援					
26	66	〇鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	門扉、玄関等すべて、日中は施錠はしない。居室については利用者の意思で施錠できるようになっている。		
27	71	〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	職員会議の中で災害対策の話し合いをしたり、オムツや非常食が備蓄されているが、防災訓練、避難訓練は行われていない。また、地域住民への協力の呼びかけもこれからとなっている。	〇	訓練の定期的な開催とあらゆる事態を想定した地域住民の協力などを求めて欲しい。

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（〇印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
（5）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスには留意し、食事の摂取量等は個別に記録している。また、その情報は職員で共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり （1）居心地のよい環境づくり					
29	81	〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、ほぼ家庭サイズで設けられ、居間、廊下にはソファーが各所に配備され、心地よい居場所が確保されている。天井窓からの自然な明かりが居間を照らしている。		
30	83	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドや物入れ等、ホーム側の提供物品は一切なく、本人の使っていた馴染みの家具、寝具、家族の写真等が持ち込まれ個性あふれた、そのひとらしい居室づくりとなっている。また、その支援も行われている。		